

団体情報掲載申請書

令和3年1月20日

団体名	松波フリースクール		
代表者	職	代表	氏名 山形 太郎 印
連絡先	〒	990-××××	
	住所・所在地	山形市松波×-×-×	
	電話番号	023-×××-××××	
	FAX 番号	023-×××-××××	
	メールアドレス	○○○@×××.jp	
事務担当者	職	フリースクール担当	氏名 山形 花子
団体の事業内容 (該当項目に○を記入)	<input type="radio"/>	①不登校児童生徒への通所型または宿泊型の学習支援や居場所支援を行うことができる団体。	
	<input type="radio"/>	②不登校児童生徒への訪問支援を行うことができる団体。	
	<input type="radio"/>	③不登校児童生徒の家族支援（相談対応、親の会等）を行うことができる団体。	



事業内容に該当する部分について、下記右枠内にご記入ください。( )には該当する場合○を、その他はご記入ください。

記載いただいた情報については、関係機関で情報を共有させていただきます。御了承ください。

青字は記載例です。

◆掲載する基準に係る内容を御記入ください。

① 不登校児童生徒への通所型または宿泊型の学習支援や居場所支援を行うことができる団体。(以下ア～ウを全て満たす)	
ア 主に平日の日中に開所し、児童生徒を受け入れることができる。	○開設する形態 (あてはまるものに○) 通所型 ( <input type="radio"/> ) 宿泊型 ( <input type="radio"/> )
	○開所する曜日・時間 居場所提供は火～土 (9:00～16:00)

	<p>○利用する児童生徒の1日の過ごし方について</p> <p>9:00 登所、学習支援・農業体験等 12:00 昼食 13:00 学習支援・スポーツ等 16:00 帰宅</p>
イ フリースクールやフリースペースを開設し、居場所の提供を行っている。	<p>○提供している支援について</p> <p>フリースクール ( <input checked="" type="radio"/> ) フリースペース (     ) <input type="radio"/> 宿泊型の支援 (     ) <input type="radio"/></p> <p>○支援サービスについて</p> <p>学習支援 ( <input checked="" type="radio"/> ) <input type="radio"/> グループ活動 ( <input checked="" type="radio"/> ) <input type="radio"/> その他行っているサービス ( ↓記入 ) スポーツ体験、調理体験</p>
ウ 一人一人が抱える課題に個別に対応した相談や助言により、社会的な自立をめざした児童生徒の発達を支援できる。	<p>○一人一人が抱える課題に個別に対応するために行っている具体的な支援について。</p> <p>来所した児童生徒には面談を行い、本人の願いを受け止め支援方針を保護者とともに確認するようにしている。 まずは活動を通して支援者との信頼関係をつくることを大切にしている。 学校との情報共有を積極的に行い、成長について確認し合えるようにしている。</p> <p>○社会的な自立を促すために行っている具体的な支援について。</p> <p>社会生活では他者との協働が重要であると考えている。そのため他者とのかわり促すことをねらいに、調理などのグループでの活動に取り組む機会を設けている。来所児童生徒は家庭での生活経験の不足しているケースが多いので、生活に必要なスキルを高められるようにしている。</p>
② 不登校児童生徒への訪問支援を行うことができる団体。(以下ア、イを全て満たす)	
ア 本人や家族の求めに応じ、訪問することができる。	<p>○訪問支援対応できる曜日、時間について。</p> <p>火～土 (9:00～16:00)</p>
イ 一人一人が抱える課題に個別に対応し相談や助言により、社会	<p>○一人一人が抱える課題に個別に対応するために行っている具体的な支援について。</p>

<p>的な自立をめざした児童生徒の発達を支援できる。</p>	<p>家族との面談を通して、家族の願いや、児童生徒の成育歴や家族とのかかわり方等を聞き取り、支援方針をたてて家族と確認している。</p> <p>具体的には、本人との会話を通して信頼関係をつくることから始め、興味のあることをひきだし、そこから社会とのつながりが生まれるように支援を行っている。</p> <p>○社会的な自立を促すために行っている具体的な支援について。</p> <p>他者とのかかわりを大切にし、外出支援から徐々に居場所の支援へとつながるようにしている。他者とのかかわりを経験できる居場所支援を一つの目標にしている。</p>
<p>③ 不登校児童生徒の家族支援（相談対応、親の会等）を行うことができる団体。（以下2点のうちいずれかを満たす）</p>	
<p>ア 本人や家族の求めに応じ、助言や支援を行うことができる</p>	<p>○相談方法について。</p> <p>来所相談 (○ )  訪問相談 (○ )  電話相談 ( )  メール相談 ( )</p> <p>その他 (↓記入ください)</p> <p>○相談対応している曜日、時間について  火～土 (9:00～16:00)</p>
<p>イ 親の会を定期的または継続的に開催している。</p>	<p>○親の会を開催する曜日、時間等について  第2土曜日 (14:00～16:00)</p> <p>○取組み内容について  通所している家族や、不登校で悩む子をもつ家族を対象に、開催している。家族の状況を語り合い、参加者からアドバイスをいただけるようにしている。</p>

◆団体の状況について御記入ください。

○団体における支援対象者について
小学生～青年（40歳）までの不登校、ひきこもりの方
○利用の手続きについて
電話による予約後来所相談
○不登校児童生徒に行っている学習支援について提出
受け入れたことがある（ <input checked="" type="radio"/> ） 受け入れたことがない（ <input type="radio"/> ）
※「受け入れたことがない」に○をつけた場合、学習支援の要望があった場合の対応について御記入ください。
基本的に個の学習状況に合わせて行っている。教材は学校で配付されたものを活用して指導をしている。 指導はスタッフと学生ボランティアが行っている。 学習状況について在籍する学校に月1回報告し、情報共有を図っている。
○これまでの不登校児童生徒の支援実績や進路状況について（※受け入れたことがある場合記入）
令和元年 中学2年生2名の居場所支援 1名学校復帰 1名は現在も支援中 令和2年4月の進路状況 2名が全日制高校へ進学 1名が通信制高校へ進学
○学校との連携方法、情報共有について（※受け入れたことがある場合記入）
在籍校には月ごとに学習内容を記載した報告書を提出している。 学期に1回（9月、2月）に学校に訪問し担当教員と面談をしている。
○市町村教育委員会との連携について（※行ったことがある場合記入）
年に1回訪問があり、支援状況について説明している。
○福祉や子育て行政部局との連携について（※行ったことがある場合記入）
県のひきこもり支援ネットワーク会議に出席している。 県の若者相談支援拠点を平成28年から受託している。
○これまで行ってきた困難を有する若者への支援について（※行ったことがある場合記入）
地域の企業の協力を得て、職員も同行して就労実習を行っている。
○これまで行ってきた家族への支援について（※行ったことがある場合記入）
親の会を毎月第2土曜日に継続的に開催している。（今年で10年目）
○保護者負担経費について
面接相談 初回3,000円 以降1,000円 訪問相談 1回1,000円 交通費は実費

居場所利用 1回 300円 学習支援 有料			
○保護者との情報共有について			
連絡帳を介して生徒の様子を伝えている。 会報を発行し、活動内容の周知を図っている。			
○不登校児童生徒や保護者等を支援する職員について			
名前	役職	業務内容	保有資格
山形 太郎	代表	通所支援	社会福祉士
山形 花子	フリースクール担当	フリースクール支援	小学校教諭1種免許状
蔵王 二郎	訪問支援担当	訪問支援	臨床心理師
松波 三郎	訪問支援担当	訪問支援	なし